

～院長コラム～

『季節の変わりめで漢方薬を変更するか』

皮膚疾患の漢方薬は変更します。

冬は乾燥してカサカサしてかゆい、夏は汗をかいて、熱がこもって赤くなってかゆい。

状況が違いますよね。

こういうときは、患者さんと話し合っって漢方薬を変更します。

それとでいたいこんな感じでいけそうと漢方薬が1つ、2つと決まってくる。

翌年からスタートが楽です。

昨年よく効いたと判断されたものから試せば良いからです。

調子が良くないなら、また調整をかけます。

ちょうど今からは気温が上がってきて皮膚の様子が変わってきます。肌質は人それぞれ違いますから、あまりにも他人様の意見を聞きすぎないよう、自分の肌の様子に忠実にいきましょう。

引っ搔いて化膿してしまったなら、十味敗毒湯(じゅうみはいどうとう)を使ってみるとか、洪紙色の紅斑があれば温清飲(うんせいいん)、化膿した部分が少なく乾燥部位が中心なら当帰飲子(とうきいんし)です。気温が上がってきて皮膚が赤くなって炎症が強くなれば清熱剤と呼ばれるシリーズの登場です。

消風散(しょうふうさん)、白虎加人参湯(びゃくこかにんじんとう)、越婢加朮湯(えっぴかじゅつとう)、黄連解毒湯(おうれんげどくとう)などがよく使われます。

抗アレルギー薬、抗生剤などの併用は可能です。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2019年4月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

